国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

令和８年１１月５日
九州地方整備局
宮崎河川国道事務所

令和８年度 磁気探査結果について

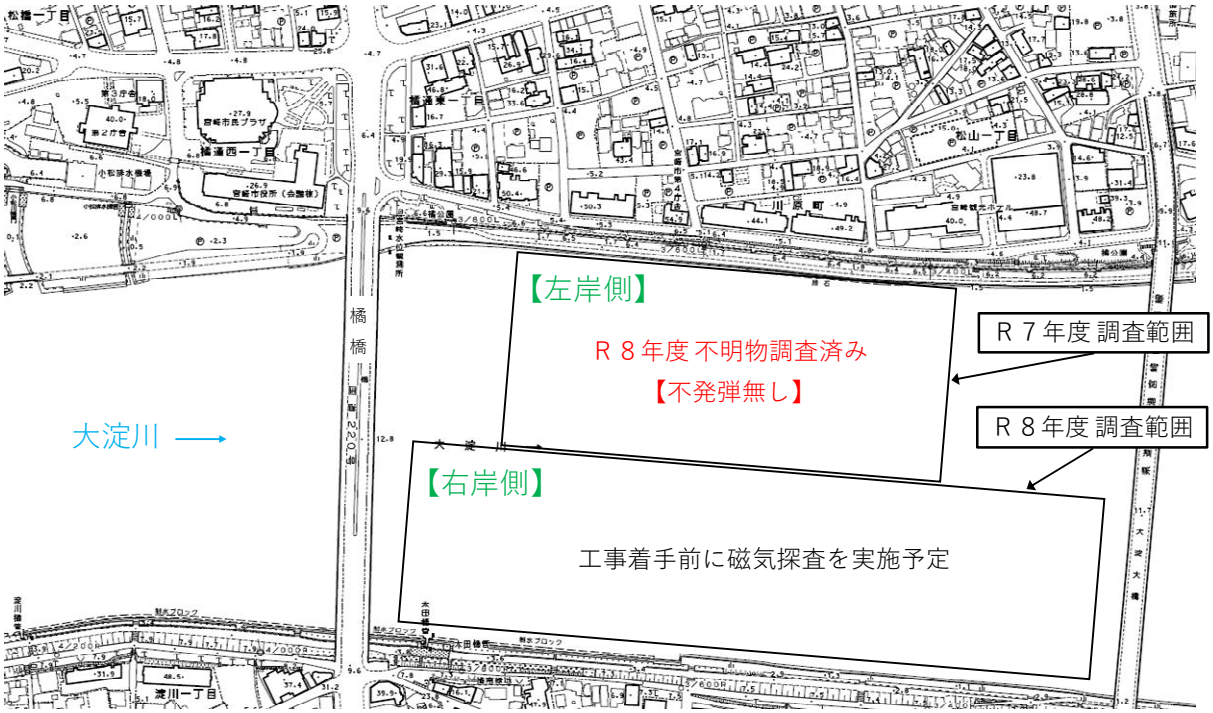
令和８年１月５日（月）、河川工事中に不発弾が発見され、宮崎市及び関係機関の協力のもと、１月17日（土）に不発弾処理が実施されました。

その後、工事を安全に進めるため、工事影響範囲内（左岸側。下図「令和 7 年度調査範囲」）において、２月上旬から約１か月間にわたり磁気探査を実施した結果、不発弾と判断される異常物は確認されませんでしたが、判定が困難な「不明物」が複数残存することとなりました。

このため、令和８年度においては、左岸側の「不明物」と右岸側の未調査箇所（下図「令和８年度調査範囲」）の磁気探査を 7 月下旬から開始しました。その結果、左岸側の「不明物」については不発弾でないことが確認されたため、河道掘削工事を11月から施工する予定としております。

右岸側については、引き続き磁気探査が必要なことから、次年度以降の工事着手前に調査を実施する予定としております。

■磁気探査　調査範囲



問い合わせ先：
国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所
技術副所長　田脇 康信
工務第一課長 小代 宏樹
TEL：０９８５－２４－８２２１(代表)

【参考資料】

①



②



③



R8磁気探査　状況写真

左上：①小型船による探査状況

上　：②潜水士による探査状況

左　：③揚収物　一式
（潜水士により揚収した磁気異常物）